

ギターCD レター from yakateru(第 49 号)

ギターの神様セゴビア。ギターを始めたのは4歳であるが、家族からは大反対され、確か、馬小屋？か何かでこっそり練習していた。その後も、タレガの門下生からも馬鹿にされながら、しかし、爪で弾く奏法を広め、ナイロン弦を普及させ、ホールでの演奏を実践し、とうとう……今のギターを形作った神様だ！

ラスト前 49 号。ギターの神様、セゴビアに再登場してもらいました

今のギターを弾く人のハイブル

「ギタリストのための 70 選」、
「ギタリストのための 50 選」を紹介した。さて、もう 1 冊お薦めの楽譜をとというと、これしかない。「セゴビア・クラシックアルバム全 16 巻」である。昭和 48 年発行版をもっているの、大学時代に購入したのだろう。貧しい大学時代ではあったが、フレスコバルディの「アリアと変奏」や、BACH の「シャコンヌ」、ソルの「魔笛」他 4 曲がはいって、なんと 1 冊 360 円だ。当時は、1 ドル 360 円の時代なので、1 ドルの楽譜集だった。それを、私は、全巻持っている。私が持っている楽譜の宝物としての価値は、70 選、50 選以上だろう。

さてこのアルバム集のすごいのは、当時、なかなか輸入譜が手に入らなかった時に、ポンセ、テデスコ、トゥリーナ、タンスマン、トロバなどのスペインの作曲家を中心とした楽譜がガンガンと手に入ったことだ。今では、楽譜入手方法はいろいろとあるが、当時は、本当に画期的な楽譜であった。

70 選、50 選は、いささか選曲として古くなったなあという感があるが、このセゴビア集は、全く新鮮なままである。後半のギター協奏曲は、ビラロボスやテデスコのものが総譜に加えギター譜付で、この値段である。ちなみに、アランフェス協奏曲の楽譜は、ない。セゴビアは、「アランフェス協奏曲」を、一度も弾かなかったのは有名な話。ウキペディアでは、アランフェス協奏曲とセゴビアの関係を次のように紹介している。

「献呈を受けられなかった大ギタリストアンドレス・セゴビアは、独奏楽器とオーケストラの掛け合いに問題があるとしてこの曲を演奏せずにはいた。後にナルシソ・イエペスがこの曲をデビュー公演で演奏し、イエペスの鮮烈さと相まって曲が有名になると、セゴビアは完全に興味をなくし結局生涯に一度も演奏することはなかった」と。結構、プライドの塊だったようだ。ついでに、別のセゴビアの逸話を紹介すると、彼は、一度も自分でギターを購入したことがないそうである。全てギターは、献呈されるそうだ。セゴビアがギターの神様と言われる所以でもある。

さて、この全 16 巻のうちのお気に入りを選びとすると、……。

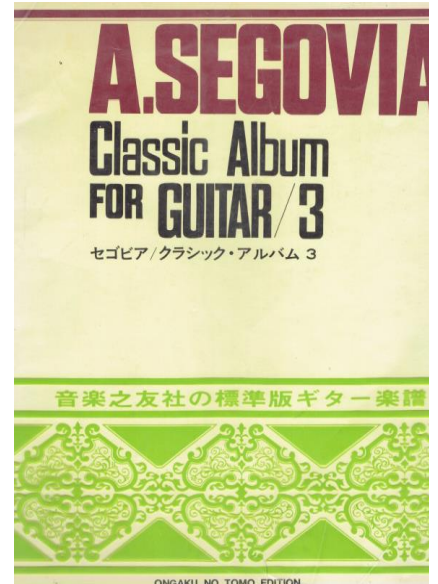
【○数字は、第○巻の意味です】

- ①クーブラン「パッサカリア」
- ③バッハ「シャコンヌ」
- ④テデスコ「ボッケリーニ讃」
- ⑤トロバ「カスティリア組曲」
- ⑥タンスマン「マズルカ」
- ⑥トロバ「ノクターン」
- ⑦アルベニス「タンゴニ長調」
- ⑦ポンセ「ソナタ・ロマンティア」
- ⑧ポンセ「ソナタ・クラシカ」
- ⑨トゥリーナ「疾風」
- ⑨ポンセ「ワルツ」「ソナタ 3 番」
- ⑩トゥリーナ「タレガをたたえて」
- ⑫セゴビア「光のない練習曲」
- ⑫タンスマン「はなやかな踊り」

……

いやあ、あるわあるわ。この他、ポンセやテデスコらの曲で難しく手が出していないのも多数ある。

以前は、シャコンヌの入ってい



る第 3 巻の使用頻度が高かったが、最近では、ポンセのソナタが入っている第 7 巻や 8 巻の使用頻度が高い。しかし、時々、えいやあと取り出した巻を弾いたりしている。

さて、今回のラスト前のお薦め CD (LP) は、セゴビアの 30 年代の演奏を集めたシリーズの第 1 集である。どんずまったセゴビア独特の音色 (MONO や録音技術のせいもあるが) が、時代を感じさせる。しかし、改めて聞くと、ポンセのソナタなんか甘く弾いているし、爆音的な響きの和音はあるものの、確実に安定した演奏だ。最近の録音は、何らかの修正やミキシング調整を凶って、心地よい響きに仕上げているが、これは SP (78 回転の片面約 5 分のレコード) を LP 板にカットし直しただけなので、演奏には全く手が入っていない。ということで、セゴビアを、しっかり聴き直す必要があるかもしれない。なんてったてギターの神様だもの。ということで、このレターを書いてきた成果の一つが、セゴビアの再発見、というか、一度もきちんと聴いていないので、セゴビア初入門か。(続)



アルハンブラの思い出 栄光のセゴビア〈第1集〉

(1927—1939年録音)

ギター／アンドレス・セゴビア ANDRÉS SEGOVIA

7. S. バッハ曲 J.S.BACH
 プロットーニョ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ
 第3番BWV.1006より〈セゴビア編〉
 ラント 無伴奏チェロ組曲 第3番BWV.1009より
 〈セゴビア編〉
 レリユード 無伴奏チェロ組曲 第1番BWV.1007より
 〈ボンセ編〉
 プレリユード ハ短調BWV.999 〈セゴビア編〉
 アルマンド 3部組曲 ホ短調BWV.996より
 〈セゴビア編〉
 ギター短調 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ
 第1番BWV.1001より〈セゴビア編〉
 ポンセ曲 一位ヴァイス PONCE "WEISS"
 曲イ短調
 ソル曲 SOL
 『魔笛』の主題による変奏曲 作品9
 ド・ヴィゼ曲 DE VISÉ
 メヌエットI、フーレ、メヌエットII
 セゴビア曲 一位フローベルガー SÉGOVIA / "FROBERGER"
 シューゲ
 トローバ曲 TORROBA
 レグレット ソナタイ長調より
 メンデルスゾーン曲 MENDELSSOHN
 ソナタ 狂奏曲第1番 変ホ長調 作品12より
 〈セゴビア編〉
 マラップ曲 MALATS
 レナータ
 タレガ曲 TAREGA
 アルハンブラの思い出 (トレモロ練習曲)

7練習曲 イ長調

■カステルヌオヴォ・テデスコ曲 CASTELNUOVO-TEDESCO

⑧ヴィヴォ・エ・エネルジコ—ソナタ「ポッケリーニ讃」より

●第3面

■アルベニス曲 ALBENIZ

①グラナダ—「スペイン組曲」より第1番

②セビーリャ—「スペイン組曲」より第3番

■トローバ曲 TORROBA

③ファンダンギーリョ—カスティール組曲より

④プレルーディオ

⑤夜想曲

■トゥリーナ曲 TURINA

⑥ファンダンギーリョ

■グラナードス曲 GRANADOS

⑦スペイン舞曲第10番 ト長調 作品37

⑧スペイン舞曲第5番 ホ短調 作品37

●第4面

■ボンセ曲 PONCE

①ソナタ第3番 第1楽章

②a.カンシオン—ソナタ第3番 第2楽章

b.ポストリュード

③マズルカ

④小円舞曲〈セゴビア編〉

⑤スペインのフォリア—主題、変奏曲とフーガ

目次

Aria con Variazioni detta "La Frescobalda" … G. Frescobaldi …… 4	(1583—1643)
アリアと変奏曲「ラ・フレスコバルダ」	
2 Minuetti …… J.Ph.Rameau (1683—1764) …… 7, 8	
二つのメヌエット	
Chaconne …… J. S. Bach (1685—1750) …… 9	
シャコンヌ	
Sonata (a-moll) …… D. Scarlatti (1685—1757) …… 18	
ソナタ イ短調	
Siciliana …… C. P. E. Bach (1714—1788) …… 20	
シチリアーナ	
Variationen …… Fernando Sor (1778—1839) …… 22	
Über das Thema "Das klinget so herrlich"	
aus der Oper "Die Zauberflöte" von W. A. Mozart	
モーツァルトのオペラ「魔笛」より	
「これはなんと素晴らしいひびき」のテーマによる変奏曲	
Walzer …… J. Brahms (1833—1897) …… 26	
ワルツ	

この7曲が入って、なんと 360 円！

世界的にその権威を認められ、欧米ギター界のベストセラーとなっているすぐれた楽譜の集成が、海外出版社との提携により、はじめて日本で紹介されました。クラシック、ポピュラーを問わず、ギターをはじめて手にする人、ギターを学んでいる人、ギターの教師、ギターに関係するすべての人たちに必携の教則本、曲集をお贈りいたします

¥ 360